

訂正の際には、該当箇所に二重線を引き、訂正印を押してください。
※修正液等の消せる筆記具での記入は不可

令和6年8月1日

荒川区長 殿

マンション・アパート名、部屋番号まで
確実に記入してください。

申請者は、利用料を払っている方（領収
書の宛先となる方）となります。

申請者 (住所) 東京都荒川区荒川2-2-3
(氏名) 荒川 太郎
(電話番号) 03-3802-XXXX
(児童生徒との関係) 父

送付日を記入してく
ださい。年度内の利用
開始日以降～各申請
期限までのいずれか
の日付です。

荒川区フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付申請書

荒川区フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付要綱第7条第1項の規定により、関係書類
を添えて下記のとおり申請いたします。

記

1 フリースクール等を利用する児童又は生徒

(ふりがな)	(あらかわ はなこ)
児童生徒氏名	荒川 花子
学校名・学年・クラス	荒川区立 ○○小学校 第3学年 1組

2 利用するフリースクール等

施設名称	○○フリースクール
施設所在地	東京都荒川区荒川○-○-○
利用開始日	令和6年 4月 1日
本年度利用予定期間	令和6年 4月 1日 から 令和7年 3月 31日

契約時の書類をご確認の上、記入してください。

3 同意事項（必須：全事項を確認のうえ、□にチェック（）を記載すること。）

チェック漏れがないようにご注意ください。

- 申請者は、補助金の申請日の前1年の期間内に概ね30日以上、在籍学校に登校していない児童生徒の保護者等であり、かつ、原則として月1回以上、在籍学校の授業時間内にフリースクール等に通所する（但し、病気、体調不良、忌引その他やむを得ない事情で通所できない場合は除く。）児童生徒の保護者等です。
- 補助金の申請日時点において、フリースクール等を利用する児童又は生徒は、フリースクール等の利用料※1を負担している保護者等です。
- 区以外の団体に対してフリースクール等の利用料※1に係る補助の申請を行う場合には、区が補助金交付事務に係る内容の審査を行う目的において、当該団体（申請者及びフリースクール等を利用する児童又は生徒に係る申請情報を提供することを承諾します。
(荒川区以外の団体の名称： 東京都) (例：東京都、○○県、○○市、等)
- 児童生徒の様子等について、在籍学校とフリースクール等が相互に情報共有をすることを承諾します。
- 申請者に係る、補助金の申請日の属する年度の前年度分の個人住民税及び国民健康保険料の納付状況について、区の関係部署に照会等調査することについて承諾します。
- 補助金の交付の決定を受けた時は、児童生徒の在籍学校及び児童生徒が利用するフリースクール等に対し、区が申請内容の情報提供を行うことについて承諾します。

他団体に申請している場合は、必ず名称を記入してください。

※1 フリースクール等から定期的または利用の都度請求される料金のうち、不登校児童生徒に対する支援の提供に係る対価のことをいい、入会金のほか利用料とは別に請求される料金は含みません。

4 添付書類

本様式を提出する際には、以下の書類を添えて提出すること。

- (1) 荒川区フリースクール等利用児童生徒支援補助金に係る確認書（学校・教育委員会用）（別記第2号様式）
- (2) フリースクール等と保護者等との間で交わされた契約内容が分かる書類の写し
- (3) その他区長が認める書類



原則、両面印刷としてください。